

AICHI GAKUIN UNIVERSITY ● Division of Liberal Arts and Sciences

# 日 本 語 表 現 法

教養セミナー・ハンドブック 第Ⅱ部

愛知学院大学教養部

AICHI GAKUIN UNIVERSITY ● Division of Liberal Arts and Sciences

教養セミナー・ハンドブック

第Ⅱ部

# 日本語表現法

愛知学院大学教養部



## 《日本語表現法》で学ぶにあたって

---

私たちは今、国際化という言葉が、そしてグローバリゼーションという言葉が取り巻く社会に生きています。このような社会は直接あるいはインターネットのような電子媒体を通して、文化や考え方の違う多くの人と「言葉」で接することを余儀なくされる社会であり、これまでになく、個々人が自分の考えを明確かつ的確に表現する力が求められている社会であると言えるでしょう。

《日本語表現法》は、みなさんが、大学での学習を進めていくうえでも、大学卒業後一人の社会人として生活し、仕事をしていくうえでも必要な自己表現力の基礎、つまり、文章を読み取る力、考える力、表現する力を鍛えることを目的としています。

具体的には論理的な文章を書くための基礎技術の習得を目的としています。論理的な文章を書くための基礎技術には、文章を正確に読み取り、要約する力、1文と1文、段落と段落につながりや整合性があり全体としてまとまりをもった文章を書く力、事実を正確に表現する力、事実と意見を書き分ける力、因果関係を論理的に説明する力、対象を比較検討し結論を導く力、根拠に基づいて自分の考えを書く力などがあります。

ところで、論理的な文章を書く力は「文章技術」を頭で理解しただけで身につくものではありません。文章の構成を考え、事実を検討し、考え、実際に書いてみることで初めて身につくものです。そのために、この教科書では多くの練習問題を用意しています。

また、論理的な文章を書く力は短い時間で身につくというものでもありません。教養部の学習全体そして専門の学習全体を通して身につけていくものでもあります。

みなさんが、この学習を通して学んだことを常に意識し、レポートや論文を書く際に振り返る習慣をつけることで、皆さんの文章はわかりやすく誰にでも納得してもらえる論理的な文章になるに違いありません。

学習の成果を近視眼的に求めるのではなく、長期的な広い視野をもって、自分自身の文章を鍛えていってください。

著者一同



## 《日本語表現法》

### ●● 目次 ●●

第1課	文章の基本(1)	文の書き方 その1—文体・ことば	7
第2課	文章の基本(2)	文の書き方 その2—わかりやすさ	12
第3課	文章の基本(3)	文章の構成と段落	15
第4課	文章の基本(4)	段落の構造—中心文と支持文	20
第5課	文章の基本(5)	接続表現	24
第6課	要約(1)		31
第7課	要約(2)		34
第8課	原因と結果		36
第9課	比較検討		41
第10課	事実と意見を書き分ける		46
第11課	定義、分類、列挙		51
第12課	意見文を書く(基礎練習1)		55
第13課	意見文を書く(基礎練習2)		58
第14課	意見文を書く(1)		59
第15課	意見文を書く(2)		62



## 第1課 文章の基本(1) 文の書き方 その1—文体・ことば

### ポイント

- ①「です」「ます」の形では書かない。  
「です」「ます」は、相手に対して丁寧に述べようとする表現であるので、論文、試験の答案、レポートなどには、客観的な書き方である「～する」「～である／～だ」の形を使う。
- ②くだけた話しことばは使わない。(1課補助資料1 参照)
- ③縮約形は使わない。(縮約形：～ちゃう(←～てしまう)、じゃ(←では)、など)  
例：考えちゃう、読んじゃう、行かなきゃならない、明日じゃない
- ④体言止めをしない。  
例：進む国際化。→国際化が進んでいる。
- ⑤倒置文にしない。  
例：適切であるとは言えない、恐らく。→恐らく、適切であるとは言えない。
- ⑥擬声語(例：ぎゃあぎゃあ)、擬音語(例：がたん)、擬態語(例：ふらふら)は、必要な場合以外は使わない。
- ⑦待遇表現(敬語、敬称など)は使わない。  
例：田中氏は大学改革を加速させたいとおっしゃった。  
山田さんの話を聞いてあげた。
- ⑧元の意味が薄れた意味で使うことばは、原則としてひらがな書きにする。(1課補助資料2 参照)  
例：事、物、所、為、～て見る、出来る、～と言う事
- ⑨同一の文末表現(「～と考えている」、「～と思われる」など)を多用しない。(連続して用いない。)

### 練習 1 次の各文の問題箇所の下線を引き、書き直しなさい。

- 1) なので、小さいうちから外国語を聞き慣れるということが大切ではないかと感じる。
- 2) あと、体験的な授業を中心にしていきたいと思います。
- 3) なかなかいい考えじゃないかなとは思っています。
- 4) 日本人なんだから、日本語をしゃべるのは当然のことだ。

- 5) 小学校から英語をやればうまくなると思う。
- 6) 日本も国際化になってきている。
- 7) ことばで伝えられるのは、一部分にすぎないと言う事がわかった。
- 8) 住民の人たちの反対で、工事は途中で中断した。
- 9) 英語を話せる子どもが増えているのは確かだ。



※補助資料1 (一般的に、レポート、論文などには使わない、くだけた日常語の例)

僕/自分、みんな

しゃべる、やる、気がする

ダメだ、いろいろ、ベストだ、大事だ、いい、すごい

とても、もっと、一番、たくさん、しっかり、きちんと、やっぱり、全然(普通)だ、なんか  
なので、でも、けど(けれど)、あと、それでも、それなのに、～し、というか

そんな、そういった、そのでの、そんなふうに

～とか、～なんて、～なんか、～だらけ、～みたいだ

それって

※補助資料2 (原則として、ひらがなで書くことば)

1 形式名詞など

「事」 例：わかった事は次の点である。→わかったことは次の点である。

「物」 例：何も知らない物だから、→何も知らないものだから、

「時」 例：小学生の時には英語を勉強しなかった→小学生のときには……。

「等」 例：東京、大阪、名古屋等の大都市→東京、大阪、名古屋などの大都市

「様」 例：彼はわかった様な顔をしていた。→彼はわかったような顔をしていた。

「程」 例：名古屋は東京程大都市ではない。→名古屋は東京ほど……。

「為」 例：その為には→そのためには

「筈」 例：その筈である。→そのはずである。

2 動詞

「出来る」→「できる」

「流行る」→「はやる」

「(問題が) 在る」→「ある」

「～に過ぎない」→「～にすぎない」

3 補助動詞など

進んで行く→進んでいく

用意して置く→用意しておく

計算して見た→計算してみた

わかって来た→わかってきた

どう言う意味かと言うと→どういう意味かというと

#### 4 副詞

敢えて→あえて

何時も→いつも

全て→すべて

尚→なお

何故→なぜ

共に→ともに

益々→ますます

先ず→まず

真っ直ぐ→まっすぐ

勿論→もちろん

色々→いろいろ

沢山→たくさん

真面目に→まじめに

#### 5 形容詞

美味しい→おいしい

上手い→うまい

相応しい→ふさわしい

無い→ない

良い→よい

易しい→やさしい

## 第2課 文章の基本(2) 文の書き方 その2—わかりやすさ

### ポイント

①不必要に長く書かず、1文をなるべく短くする。

「一文一意」(1文で1つのことを伝える)を心がける。

例：それは納得いくけど、だからといって、小学校1年生からやる必要があるかといったら、そうではないと思います。

→それは納得できる。しかし、小学校1年生から勉強する必要はない。

②長い修飾語句を使わない。修飾語句は修飾する語句の近くに置く。

例：多額の累積赤字を抱える愛知県小牧市の新交通システムについての方針は……

→愛知県小牧市の新交通システムは、多額の累積赤字を抱えている。このシステムについての方針は、……

③主語と述語が対応するように文を整える。「ねじれ文」を避ける)

例：ア. ビタミンCの主な役割は、免疫力を高め、細菌やウイルスに対する抵抗力を強化する。

→ビタミンCの主な役割は、免疫力を高め、細菌やウイルスに対する抵抗力を強化することである。

イ. なぜなら、早いうちから取り組むことが望ましいと考えられる。

→なぜなら、早いうちから取り組むことが望ましいと考えられるからである。

ウ. 小学校1年生から英語教育を受けることは、将来、国際社会において様々な点で有利になるだろう。

→小学校1年生から英語教育を受ければ、将来、国際社会において様々な点で有利になるだろう。

④読点(,)のつけ方に気をつける。

A. 文の主題となる語句のあと。

例：東京は、政治、経済の中心地であり、文化の中心地でもある。

B. 同じ文法的機能を持つ語句を並べて書く場合。

例：～は中部地方の愛知県、岐阜県、三重県では非常に差がある。

C. 連用中止法(例：上がって→上がり、なくて→なく)のあと。

例：この10年間で物価が上がり、賃金にも変化はなく、消費は明らかに減った。

D. 文の初めの副詞、接続詞のあと。(注：筆者や場合によっては付けない場合もある。)

例：さらに、次のようにも言える。

例えば、日本と比べてみると……

E. 語句を隔てて修飾するとき。

例：現状が把握できたとしても、既に述べた通り、適切かつ十分な対策を講じるまでには相当の時間が必要であろう。

F. 読みにくさ、読み誤りを避けるため。

例：A案はB案のようにすぐに人々に受け入れられることはないだろう。（「、」の位置によって、二通りの解釈が可能）

**練習1** 次の文章に句点（。）と読点（、）、記号などを入れ、漢字などに直せるところは直して読みやすくしなさい。

1) よくほっかいどうにはほうげんはあるのだろうかといわれるほっかいどうのひとのなかにはねんれいにかんけいなくほっかいどうにほうげんはないじぶんたちのことばはひょうじゅんごとおなじだといってほこらしげにしているひとがいるのもじじつであるしかしこのことばはどうだろうはおやがこどもにこのかみをなげてきてといったとすこどもはかみをごみばこにすてにいくがまさかかみをははおやになげはしないほっかいどうではなげるもなげるすてるもなげるなのである

道場優「日本の方言探訪①北海道編」『月刊日本語』1991.1 大修館書店

2) にんげんかんけいをそのむすびつきかたのほうしきによってわけるとたてとよこのかんけいとなるぜんしゃはおやかかんけいでありこうしゃはきょうだいしまいかんけいである

3) かんきょうしょうはおんしつこうかがすさくげんのためなつのえあこんのおんどせつていを28どにとよびかけたしかししごとのこうりつをかんがえるとあつさをがまんしてまでえあこんを28どにせつていするひつようはあるのだろうか

**練習2** 次の各文あるいは文章の問題箇所を書き直しなさい。

1) 小学生に携帯電話を持たせることに賛成である。なぜなら、親が子どもの居場所を知ることができる。

→小学生に携帯電話を持たせることに賛成である。

2) 早期英語教育に賛成する。私がそう考える理由の一つは、現在、これからの社会を生きていくためには、英語というものは非常に重要で大切である。

→早期英語教育に賛成する。

3) なにより大事なのが子どもに外国語を教育するうえで、動機を持たせる事が一番大事だと思う。

→

4) 小学校1年生からの外国語教育に賛成である。なぜなら小学校1年生から外国語を学んでおけば、この文明が進んだ現代社会において、もはや自国の言語だけでなく他の国々の言語を使うことは必要不可欠と言っても過言でなくなっているからだ。

→小学校1年生からの外国語教育に賛成である。

5) 小学生に携帯電話を持たせることには、問題点もある。その問題は、親にお金がかかってしまうことや、小学生自身が、無意識のうちに危ないサイトなどにアクセスする可能性がある。

→小学生に携帯電話を持たせることには、問題点もある。

## 第3課 文章の基本(3) 文章の構成と段落

### ポイント

#### 1. 文章の構成

文章の構成を知ることは、文章を正確に読み取るうえでも、わかりやすい文章を書くうえでも大切なことである。レポートや論文のような文章は、問いを持ち、それに答えるという構造を持つ文章で、序論、本論、結論の3部構成で書かれることが多い。序論には問いが、本論には問いへの答えを導く論証が、結論には答えが書かれる(p.19参照)。

#### 2. 段落

文章はいくつかの段落からなる。段落とは、ひとまとまりの考え方を表す単位であり、各段落は文全体の主題のもとに統一がある。キーワードの繰り返し、内容の関連づけ、接続詞の使用などが、段落間につながりをつけている。

### 練習1 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

よく、北海道に方言はあるのだろうかと言われる。北海道の人の中には、年齢に関係なく、「北海道には方言はない。自分たちのことばは、標準語と同じだ」と言って誇らしげにしている人いるのも事実である。しかし、このことばはどうだろう。母親が子供に「この紙をナゲテきて」と言ったとする。子供は紙をごみ箱に「捨て」に行くが、まさか、紙を母親に「投げ」はしない。北海道では「投げる」もナゲル、「捨てる」もナゲルなのである。ちなみに、ナゲルは紙からテレビまで、捨てるものには全て使われる。また、ハクはどうであろう。手袋はハクであり、全国共通語のハメルではないと思っている人は多い。ハメルはまちがいと批判する人さえ多い。北海道の人にとっては、指輪はハメルであり、手袋は靴や靴下と同じくハクものなのである。ところで、北海道の方言の中には、お年寄りや親よりも若者が特別に好んで使う方言が数多くある。「あんた、ちょっとハンカクサイデナイ」(あなたは、少しバカじゃないの)のハンカクサイは、軽いタッチの「おかしい」位の意味で使う。本当に「ばか」と思う時は、バカ、アホと言う。バカよりもやわらかい語感が好まれるらしい。また、若者だけが使い、お年寄りや親も使わないという方言もいくつかある。膝や足などをぶつけた時に、青黒い色になったのをアオタンと言う。これは北海道全体で若者が使う方言である。若者たちから生まれた方言の一つであり、子供が親に「アオタンできた」と言っても、親は「何、それ?」ということになるのである。北海道には、この他に、アクセントや音韻、語法など北海道独自の方言も数多くある。そして、このように、北海道の人が気づかずに使っている方言、意識的に使っている方言など、北海道ならではの方言が、わたしたちの日常の会話を豊かにしているのである。

道場優「日本の方言探訪①北海道編」『月刊言語』1999.1 大修館書店



思って大部分の人は一生を過ごすのである。

②もちろん今日のように、テレビ、新聞などの情報手段が発達し、外国旅行をする人も増え、町中で外国人を見かけることも珍しくなくなった時代では、一般の人といえども、国が違えば風俗習慣が違い、人々の行動も異なっている程度のことは知っている。

③しかし普通の人気づく、いわゆる文化の相違とは、比較的目につきやすい、具体的な現象に限られることが多いのである。一部の学者が、あらわな文化と呼ぶ、文化の側面がこれである。

④食事の場合を例にとれば、日本では箸を使うが、欧米ではスプーン、ナイフとフォークを用いるといったことがこれに当たる。また日本人は生うにやなまこを賞味するが、向こうでは血のソーセージや羊の脳味噌を出されたりすると閉口する。そしてお互いに、外国人はよくもあんなものが食べられると思ったりするのも、あらわな文化の項目の違いに関係している。

⑤この顕在的な文化に対して、目に見えにくい、それだけに、なかなか気がつかない文化の側面のことを、かくれた文化と呼ぶ。食器の例で言えば、現在では日本人もスプーンやフォークなど、かなり使いなれて、ことに若い人などは、箸よりも上手に使うぐらいである。

⑥ところがよく観察すると、西洋人と使い方が微妙に違うのである。たとえば日本人は、スプーンでスープを飲むとき、スプーンを顔と平行になるような角度で、口に持っていく。そこで必然的にスプーンの横に口をつけて飲む形になる。しかも吸い込むようにして、液体を口に入れる。「吸い物」の伝統が残るのである。

⑦ところが西洋人は、どちらかと言えば、スプーンを顔と直角になるように近づけ、スプーン先端から飲む。そのとき、吸うのではなく流し込むようにするため、スプーン先が、口の中に相当入り込むことになる。

⑧このように、文化の項目としてはまったく同一のスプーンを使いながら、日本人と西洋人との間には、ちょっと人が気づかない構造的な違いが見られる。文化というものは、このような、当の本人が自覚していない、無数の細かい習慣の形式から成立しているものであって、この、かくれた部分に気づくことこそ、異文化理解の鍵であり、また外国語を学習することの重要な意義の一つはここにあると言えよう。

鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』岩波新書

1) 次の文章は、各段落の内容を簡単にまとめたものである。( ) にことばを入れなさい。

ある一つの国の文化は、その国の人々にとっては、( ) ものだ。  
今日のような情報社会では、一般の人でも国が違えば ( ) が異なることを知っている。

( )、普通の人気づく文化の違いは目につきやすい ( ) と呼ばれる文化の側面に限られることが多い。

( )、日本では箸を使うが、欧米ではスプーンやナイフを使うといったことである。  
顕在的な文化 = ( ) に対して、目に見えにくい文化の側面を

( ) と呼ぶ。

同じようにスプーンを使っても、日本人はスプーンを顔と平行になるように使い、スプーンの横に口をつけて飲むが、西洋人はスプーンを顔と直角になるように近づけ、スプーンの先端から飲む。

文化とは、スプーンの例に見るように、普通自覚されないような ( ) の形式から成立しているもので、このような ( ) であり、外国語を学習する重要性もここにある。

2) 次の文章の ( ) に適当な数字またはことばを入れなさい。

この文章を、序論・本論・結論という文章構成から検討してみよう。

序論は ( ) 段落)、本論は ( ) 段落)、結論は ( ) 段落) に書かれている。

本論は、( ) というキーワードでくることができる ( ) 段落) と ( ) というキーワードでくることができる ( ) 段落) に分けられる。また筆者の主張は ( ) 段落) に書かれている。

## 〈文章の構成——レポートや論文を書くために〉

- 1) レポートや論文は、**序論**、**本論**、**結論**の3部で構成し、序論、本論、結論には以下のような内容を盛り込む。(なお、具体的な文章の例については、第14課の「意見文」を参照すること。)

主題	
<b>序論</b>	(導入：主題に関して読み手の注意を引き付ける) 主題の背景説明：主題の意義や背景を簡単に説明する 主題の提示：問題提起をしたり主張を述べたりする
<b>本論</b>	主張に対する論点 <sup>※1</sup> と根拠 <sup>※2</sup> を提示する (最低2つは提示するとよい) 論点1：(中心文) 根拠1：(支持文) ……統計資料、事実、理由、具体例 まとめ：(1段落が長い場合は必要) 論点2：(中心文) 根拠2：(支持文) まとめ ・ ・
<b>結論</b>	全体のまとめ：序論、本論を簡単にまとめる 結論：主張を確認する (課題：残された課題を述べる)

※1：「論点」は、レポートや論文のテーマによってその性質は様々である。例えば、何らかの提案を行う文章の場合、「論点」はその提案の具体的な在り方(方法)、あるいはその提案の意義などである。また、ある事柄に関する賛否の立場を示す文章の場合、「論点」は賛成あるいは反対の具体的な理由である。

※2：「根拠」は、論点を支える、具体的かつ客観的な情報である。なお、論点と根拠の位置は入れ替えても良い。

- 2) 主題は「問い」や「主張」の形で示す。

「問い」や「主張」とは、ある問題に対してどう考えるかを示すものであり、本論で「問い」への答えが書かれる。

「問いの形」とは、「はたして……だろうか」「本当に……なのだろうか」「どうして……なのだろうか」のようなものを言い、「主張の形」とは、「……に賛成である」「……べきである」「……必要がある」のようなものを言う。

「問い」や「主張」を意識しつつ文章を書くと、内容に一貫性のある、説得力のある文章が書ける。

- 3) 序論、本論、結論の割合は1～2：6～8：1～2くらいが望ましい。1000字程度のレポートを書く場合には、序論(1～2段落)、本論(3～4段落)、結論(1～2段落)程度とするとよい。短い文章であっても、**序論**、**本論**、**結論**の形式を守ることで読みやすい文章にすることができる。

## 第4課 文章の基本(4) 段落の構造—中心文と支持文

### ポイント

段落とは、ひとまとまりの考え方を示す単位であり、中心文（その段落で一番言いたいこと（段落主題）を簡潔に書いた文）と支持文（中心文を詳しく説明し、読み手を納得させる文）からなる。支持文には、統計資料、理由、例などが書かれる。

例

階層格差が拡大している。今後はますます拡大すると言われている。

厚生労働省の「所得再分配調査」によれば、所得のジニ係数（不平等度を測る指標であり、分布が平等であれば0に近づき、不平等であれば1に近づく係数である）は1990年の0.4334から2002年は0.4938に上昇している。ジニ係数が0.5というのは、国民の総所得の4分の3を、所得の高い方の4分の1の人だけで占める状態であるから、現在の日本はほぼその状態にあると言える。

三浦展（2006）『下流社会』光文社新書

上の例で、下線部が中心文であり、「厚生労働省」から始まる文が「階層格差が拡大している」という中心文を裏づける支持文である。支持文には、厚生労働省による調査資料が用いられている。

**練習1** 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

それにしても、現代においてなぜ「数字」はこれほどまでに私たちの社会に浸透し、絶対的な地位を占めるに至ってしまったのだろうか。

それは第一に数字が圧倒的に「分りやすい」からである。数字には曖昧なところがない。二つのテレビ番組のどちらがいい番組か、それを議論し始めたら何時間かかっても結論が出ないかもしれない。しかし視聴率20%の番組と15%の番組と言われれば20%の勝ちだ。この子とあの子のどちらが数学ができるか。授業をしていても、どちらができるのかよく分からない。ならばテストを試してみればいい。85点と75点。結果は明白に出るではないか。

第二に、数字は我々の主観を超えた、客観的なものだ。私たちひとりひとりの意見は主観的だから歪んでいる。しかし数字は客観的で公正なものとされる。どちらの番組が優れているかを主観的に議論すれば、声の大きい人が勝ってしまうかもしれない。それ以前に、主観と主観のぶつかり合いで、どうやって結論を出せばいいのか分からない。だから数字という客観的かつ公正なものに委託しなければならないのだ。

それはどちらも「評価」に関わることだ。そして、「数字」は評価の場で圧倒的な強みを発揮する。客観的で、曖昧さがなく、主観にも左右されない、一番効率的で分りやすい評価。それが「数字」によって得られる。

（中略）

数字による評価は両刃の刃だ。ある内実があって、それが数字として表現される。そしてそのフィードバックによって内実がますます改善されていくというのならそれは豊かな現実をもたらすものとなる。しかし、数字さえ取ればいいのだ、数字こそが目標なのだとなってしまうと、私たちはむしろ生きることの豊かさを数字に明け渡すことになってしまう。

上田紀行 (2005) 『生きる意味』 岩波新書

1) 各段落の中心文を書きなさい。

第1段落 ( )

第2段落 ( )

第3段落 ( )

第4段落 ( )

第5段落 ( )

2) 第1段落に対する第2・第3段落の関係を書きなさい。( )

3) 第2段落の支持文の種類を書きなさい。( )

**練習2** 次の文章の中心文と支持文を短くまとめなさい。

日本の今の若者がマニュアル主義になっているのはとても残念なことだが、ではなぜそうなったかと考えると、親の代に大きな責任がある。五十代前後のサラリーマンの姿を表わす慣用句の一つに、「下駄を預ける」というものがある。戦後の日本では、良い大学を卒業して大きな会社に入ることが一番いいとされ、自分の人生に関するほとんどの決定権を会社に任せて、多くの責任を手放してしまう態度で生活してきた。これはある意味、精神安定剤を飲み続けて生きることに近いと思う。そして仕事が終わると仲間と飲みに行き、週末にも会社の仲間と遊ぶ会社漬けの生活。結局会社では、マニュアル化どころかマニュアルすらなく、全てが完全に「上意下達」で上からの指示にそのまま従うだけである。

ピーター・フランクル (2000) 「下駄を預けない人生への期待」『これからどうなる21』 岩波書店

中心文 \_\_\_\_\_

支持文 \_\_\_\_\_

**練習3** 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

①本を読む際に、ノートを取ったり、カードを作ったりということはしないほうがいい。時間ばかりかかって仕方がないからだ。ノートを取りながら本を一冊読む間に、ノートをとらずに本を読み続ければ軽く5冊は読めるだろう。ノートを取って1冊の本を読むことで頭に残ったものと、ノートなしで5冊の本を読んで頭に残ったものとを比較してどちらが豊かかを考えてみれば、文句なく後者である。普通の頭であれば、ノートなど取らなくても、ほんとに大事なことはちゃんと頭に残っているものである。

②もちろん、頭への残り方はノートに残すほど正確なものではない。正確でなくともよい。どの本のどのあたりに、だいたいどんなことが書いてあったというボンヤリした記憶で十分である。あとは、必要が生じた時にそのボンヤリした記憶をもとに、当該部分をさがしあてられればよいのだ。そのために、これは読んでいて大事と思うところは、線を引いたり、ページを折ったりして目印をつけておくとよい。本は消耗品と心得、ケチケチせずに汚しながら読むべきである。

③線を引くときに、自分なりに何種類かの線の引き方と、線を引いた上のページの余白部分に付ける符号などを考案して、重要度の区別、意味づけなどをしておくとよい。そうしておくと、二度読みするときや、あとから必要箇所を参照するときに非常に便利である。もう少しはっきりした記録を残しておきたいときは、表紙の見返しに、ページと事項を簡単にメモしておくというのもよい。

④どうしてもノートをとりたいというときは、必ず二度読みしてとるべきである。一度目は線引き、ページ折り程度のマークをつけるだけで、とにかく読み通してしまう。読み終わったところで、もう一度はじめに戻って、必要と思われるところだけノートをとっていく。こうすると、はじめからノートをとりながら読み進める場合に比べて、ノートの量を三分の一くらいに減らすことができる。ラッキーな場合には、はじめはノートを取るつもりでいたが、読み終わったら別にノートを取ることもあるまいという気になって、ぜんぜんノートを取らずにすんだということにもなるだろう。

立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

1) 各段落の中心文と支持文を短くまとめなさい。

①中心文 \_\_\_\_\_  
支持文 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

②中心文 \_\_\_\_\_  
支持文 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

③中心文 \_\_\_\_\_  
支持文 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

④中心文 \_\_\_\_\_  
支持文 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

2) ①～④の段落はどのようなことばでつながっているのか確認しなさい。

段落	段落間に共通することば
( ① と ② )	( )
( ② と ③ )	( )
( ( ) と ④ )	( )

3) 文章全体の主張は何か、書きなさい。

( )

## 第5課 文章の基本 (5) 接続表現

### ポイント

接続表現とは、文と文、段落と段落のつながりを明示することばであり、また文章の構造を示す言葉でもある。文章を正確に読み取るうえでも、論理的な文章を書くうえでも、接続表現への注目は欠かせない。

接続詞には付加（累加）、帰結、転換、補足・制限、解説（言い換え）、理由、例示などがある。（p. 30参照）

### 練習 1

(1) 次の①～⑦を、この順番で、〔 〕内に示された接続表現をそれぞれ1回ずつ用いて、一連の文章にまとめなさい。ただし、内容を変えない程度に文は適当に変更してよい。

〔 すなわち　そして　だから　ただし　たとえば　なぜなら 〕

- ①論理トレーニングで大事なのは論理的文章を数多く読むこと。
- ②さまざまな接続表現に注意することである。
- ③論理とは言葉と言葉の関係にはかならないが、それを明示するのが接続表現である。
- ④「しかし」という接続詞は多くの場合「転換」を示している。
- ⑤「しかし」の前後で主張の方向が変化している可能性が高い。
- ⑥議論の方向を見失わないためには、「しかし」という接続詞に注意することが必要になる。
- ⑦ときに接続表現は省略されるので、その場合には自分でそれを補って読まねばならない。

野矢茂樹（2001）『論理トレーニング101題』産業図書

(2) 下の（ ）に接続詞を入れ、①～⑦の文章の構造を確認しなさい。また { } には接続詞の種類を書き入れなさい。

①（ ）② { }

②（ ）③ { }

①②③（ ）(④⑤⑥) { }

④（ ）⑤ { }

④⑤（ ）⑥ { }

①～⑥（ ）⑦ { }

このように見てくると、接続詞には大きく、議論を進める接続詞 { }  
 { } { } { } { } と議論の流れを変える接続詞 { } { } { } があることがわかる。これを知り、  
 使いこなすことは論理的な文を書くための大事な一歩である。

野矢茂樹 (2001) 『論理トレーニング101題』産業図書 pp. 12-14を改変

**練習 2** 次の各文章の ( ) 内の接続詞のうち、適切な方を選びなさい。

1) クローン技術を利用して犬や猫を誕生させることを容認する人々がいる。(だが/なお) そのような人たちでも、クローン技術によって人間を誕生させることについては容認できないのではなからうか。

2) 新しい知識を得たいと思うとき、私はまず書店に行く。まず図書館に行って本を借りようなどとは思わない。(そのため/なぜなら)、図書館の本には、線を引いたり、書き込みをしたり、ページを折ったり、場合によっては破ったりというようなことができないからである。

立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書 一部改変

3) 国語小辞典に収録されている語彙は、六万から十万である。読めばわかるという語まで拾えば普通の人でざっと三分の二はわかるはずである。(いわゆる/つまり)、四万から七万の語彙力を持つわけだ。

立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

4) 世の中には、想像以上にガセネタが多いものである。この世で流通している真実の量よりは、ウソやデタラメの流通量のほうがはるかに多いだろう。(したがって/つまり)、いかなる情報に接しても、いつでもその真実性を吟味してから受け入れる習慣を身につけておく必要がある。

立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

5) 人間関係その結びつき方の方式によって分けると、「タテ」と「ヨコ」の関係となる。(いわゆる/いわば) 前者は「親子」関係であり、後者は「兄弟姉妹」関係である。

6) イタリアと中国の関係は、遠く紀元前2世紀の前漢の時代に、(いわゆる/つまり) シルクロードを通じて中国の絹がローマに運ばれたことにさかのぼる。

7) 少子化の進行を食い止めることが緊急の課題になっている。(なお/そのため) 政府はいくつかの政策を提案しているが、有効と思えるものは少ない。

8) 何か新しいことを学ぼうと思って神保町に行くとき、私はまず三省堂、東京堂、書泉グランデ、

富山房などの大書店をまわってみる。(また／そして)、関係の書架にある本を片端から見ていく。  
立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

- 9) どのようなジャンルにしろ、深く知ろうと思ったら、専門書店に行くのが一番である。(中略) 専門書店のありかを手っ取り早く知るには、そういう専門書店の利用者である専門家に聞くのが一番である。(あるいは／それとも) 専門書の出版社に聞いてもよい。

立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

- 10) 一冊の本を楽しみながら読むなら、一日二冊がせいぜいだろう。(ところで／しかし)、特定の情報を求めて文献を渉猟するとなったら、一日に十冊、二十冊の本にあたっていくということはさして困難ではない。もちろん、「本にあたる」というのは、「本を読む」というのとはぜんぜん違う。  
立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

- 11) 次の各文の(1)~(5)に、最も適切な言葉を下から選んで入れよ。(なお／ただ)、同じ言葉を2度使ってはいけない。

- 12) ここ数年の日本の自殺者は三万人を超えている。自殺者は働き盛りの4、50代に多く、(しかも／および) 男性が女性の3倍近いという。

- 13) 中部圏の空港として中部国際空港(すなわち／つまり)セントレアが完成したのは2004年のことである。それ以来セントレアは多くの乗客を国内外に運んでいる。

- 14) 時の試練を経て生きのびた古典的名著には、たとえ難解であっても脂汗を流すだけの価値があるものだ。(なお／ただし)、古典的名著でも、外国のものを翻訳で読む場合には、翻訳の良し悪しを十分吟味しなければならない。立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

- 15) 人は自分が信じたいことはたやすく信じてしまうものである。信じたいことなら、未確認情報でも、つい真実だと思い込んでしまう。(また／逆に)、信じたくないことなら、なんとかしてその情報が真実ではない証拠を探そうとする。

立花隆 (1995) 『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

- 16) しじみのタンパク質は必須アミノ酸8種を含み、(そのうえ／そして) これらのバランスが非常によいので、病後にはしじみ汁を食べるのがよいと言われている。

- 17) 新聞記事をスクラップするときには、とりあえず、政治、経済、社会などと大分類してみる。一つの大分類の量が増えすぎたら、適当な中分類を考えてみる。(たとえば／というのは)、政治なら、政局、国会、自民党、野党……などという項目に分けてみる。

- 18) 最近、地下鉄などの案内に多言語表示が見られるようになってきた。(あるいは／もっとも) 多言語といっても数種類の言語に限られてはいるが。
- 19) 子どもたちに喜ばれるのではないかという思いから、大学生と小学生と一緒にキャンプするという企画を考え、実施した。(ところで／ところが) 子どもたちの反応は予想とはまったく違っていた。
- 20) 今私たちが抱えている問題への改善の方法はいろいろある。それらはそれぞれに問題もあるけれど、(要するに／いわば) 今より能率があがればいいのだ。

**練習 3** 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

①ある母親がなるべくいつまでも着られるようにと、大き目の制服を子供に買ってやった。②子供が不満に「お母さん、この服だぶだぶだよ」と言うと、母親は「でもゆったりしていていいわよ。着てて楽よ」とすまして言う、といった情景を考えてみよう。③「だぶだぶ」も「ゆったり」も、どちらも洋服が大きすぎるという客観的判断については一致している。

④ ( ) 「だぶだぶ」という表現は、その基準の超過を困ったもの、マイナスとして評価しているのに、「ゆったり」の方は、同じことを喜ばしいもの、プラスとして評価しているという違いがある。⑤衣服については「つんつるてん」とか「寸足らず」、また「きつい」などが、基準より不足している大きさを表すのに用いられる。⑥ ( ) どれもが、ほめ言葉ではないということ、このような不足を否定的に評価していることがわかる。

⑦衣服について、よく用いられる適格表現語の中に「ぴったり」とか「ちょうどいい」のような表現も含めることができよう。⑧これらは着る人の体という基準に対し、問題になっている衣服が、過不足なく、思った通りの大きさだと言う判断を表しているのである。

鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』岩波新書

- 1) 下線部には適当なことばを、〈 A 〉〈 B 〉には接続詞を入れなさい。

だぶだぶもゆったりも \_\_\_\_\_ で一致する。

〈 A : \_\_\_\_\_ 〉

だぶだぶは \_\_\_\_\_、

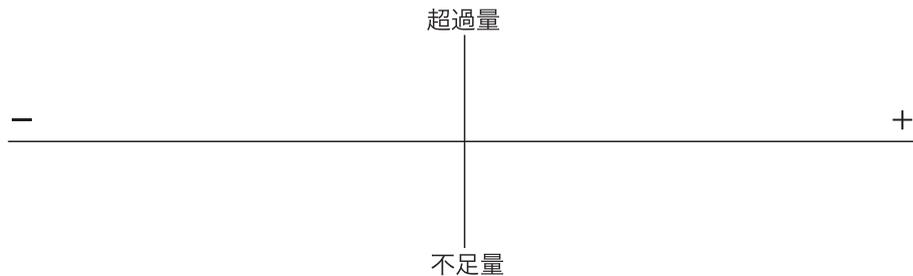
ゆったりは \_\_\_\_\_ 点で違う。

つんつるてん、寸足らず、きついなどは \_\_\_\_\_ を表す。

〈B : \_\_\_\_\_〉 ほめことばではない。

\_\_\_\_\_ 評価している。

2) 下のグラフに適切なことばを入れなさい。



**練習 4** 以下の文章中で、接続詞が必要だと思うところがあれば入れなさい。

①ネコは本来、警戒心の強い生き物です。②この警戒心とは、敵の気配を察したらすぐに逃げられるように、つまりネコが自分の身を守るために持っている本能です。③心から安心できる環境にいるネコは、幸か不幸かこの能力を使わずにすんでいるのです。

④つまり室内飼いのネコにとって、室内ほど安心できる場所はないのです。⑤敵もいないし、エサもあるし、トイレだってあります。⑥自分を愛してやまない飼い主が用意してくれた環境なので、悪いはずがありません。⑦「室内飼いのネコが外に出られないからストレスがたまっている」という考え方を、全てのネコに当てはめることはできないのです。

野矢茂樹 (2001) 『論理トレーニング101題』産業図書

(問題文は、南部和也・南部美香『ネコともっと楽しく暮らす本』(三笠書房王様文庫)による)

**練習 5** ( ) 内の文のうち、適切なものを選びなさい。

団塊ジュニアは日本の社会が中流社会になってから生まれた初めての世代だ。だから、団塊ジュニア以降の世代は (①日本の社会には著しい貧富の差があることを知っている世代である②著しい貧富の差を見たことがないまま育った)。郊外の新興住宅地では、同じような年格好の、同じような人が、同じような家にすみ、同じような車に乗っている。みんながそこそこ豊かだ。それが当たり前のだ。だから、「下」から「中」へ上昇しようという意欲が根本的に低い。「中の中」から「中の上へ」という上昇志向も弱い。「中」から「下」に落ちるかもしれないと考えたこともなく育った。

山の上に上ろうとするのは、山の上に何かすばらしいものがあると期待するからで、すでに七合目くらいにいて、しかも山の上に欲しいものなどなく、七合目にもたくさんのものがあふれているとわかったら、誰も山の上まで苦勞して登ろうとしなくなるのは道理である。

ディスカウントストアには、目を疑うような低価格で物が売られている。クラシックの歴史的な

盤すら、百円の CD となって売られている。こんな時代に、努力して働こうと思う方がおかしいとすら言える。だから生きても生きられる。

しかし、この団塊ジュニアを中心とする若者がこれから生きていく社会は、(①これまでとは違う②これまでと変わらない社会である)。同じ会社に勤める同期の人間でも、30歳をすぎれば給料が倍も違ってくる。

三浦展 (2005) 『下流社会 新たな階層集団の出現』 光文社新書

**練習 6** 以下は「朝型と宵型」について書かれた文章である。( ) 内の接続詞のうち、適切なものを選びなさい。

よくいわれるように、早寝早起きは三文の徳で、よいつぱりの朝寝坊は悪徳であろうか。眠りには個人差があるし、同一人でも活動の習慣がかわることがある。融通のきく生活ができることが、とりもなおさず、高等な生き物の長所なのだから、どちらがよい、というような単純な図式で評価するのは早計である。

わかったかぎりでは、朝型と宵型の時差は、体温リズムの時差に密接に関連している。

(つまり／また)、体温のピークが早めにくる人は、比較的早く眠くなり、朝早くめざめ、午前中のほうが調子がよい、という傾向がある。(また／逆に)、宵型の人は体温のピークが数時間遅れ、(むしろ／しかも) 高低の落差が大きくなっている。

体温の変動には、人ごとにかなり安定した日周性がある。(つまり／いわゆる)、体温の下降期が就寝時刻となり、体温の上昇期が起床時刻となるように、二種類のリズムが相関しているわけだ。体温は睡眠期と覚醒期の始まるまえに上下して、状態の切り替えにそなえている。

(だから／たとえば)、体温の下降期と入眠期とを同調させるのは、よい眠りをえるための必要条件となる。自分の体内リズムに、活動と休息のリズムをあわせることが大切なのだ、といえよう。

井上昌次郎 (1998) 『睡眠の不思議』 講談社現代新書

❖接続詞（接続表現）一覧 X、Yは、一語、一句、一文あるいは一文以上であることを表す

❖議論をすすめる接続詞

1.  $X+Y$ （付加、累加）

そして、それから、また、しかも、さらに、および、そのうえ、むしろ

2.  $X\rightarrow Y$ （帰結、理由）

したがって、つまり、結論として、だから、そのため、よって、それゆえ、なぜなら、その理由は

3.  $X=Y$ （解説）

すなわち、つまり、いわゆる、言わば、言い換えれば、要約すれば

4.  $X$ 例 $Y$ （例示）

たとえば

❖議論の流れを変える接続詞

1.  $X\rightarrow Y$ （転換）

しかし、だが、ところが、ところで、さて

2.  $X\rightarrow Y$ （譲歩）

確かに～だ。しかし～

もちろん～だ。しかし～

3.  $X:Y$ （補足・制限）

ただし、もっとも、なお

4. 対比

一方、他方、それに対して、（だが、しかし）

❖その他

1.  $X\rightarrow Y\rightarrow Z$ （順序）

まず、次に、それから

2.  $X$  or  $Y$ （選択）

または、あるいは、もしくは、ないし（は）

3.  $X$  and  $Y$  and  $Z$ （列挙）

第1に～、第2に～

（野矢茂樹（2003）『論理トレーニング101題』を参考に作成）

## 第6課 要約(1)

### ポイント

要約することの利点には次の三つがある。第一に、文章全体や段落内の構成をつかむ練習になる。第二に、字数の制限があるため、内容を簡潔に表現する訓練になる。第三に、文献を引用する際にはこの要約の技術が役に立つ。

#### 要約の手順

- (1) 各段落の中心文を見つける。  
中心文を元に、必要な部分を付け加えたりして、1～2行の短い文にまとめる。  
ただし、中心文がない場合は、重要な語句をつなげて短い文にまとめる。
- (2) 接続詞などに注意して、各段落間のつながりをつかむ。
- (3) 筆者の主張とその論拠を中心に、手順(1)で要約した文をまとめる。
- (4) 指定の字数に合わせるために工夫する。  
 unnecessary部分（導入部分、例など）は省く。  
 上位語を使ったり、簡潔に表せることばで言い換える。

### 練習 1 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

- ① 人間がイヌやネコなどの動物と異なり、「万物の霊長」として地球上に文明を発生させることができるようになった、そのもっとも大きな理由が二本足による直立歩行と手による道具の使用、それに火を自由に管理できたことだとすれば、その文明を大きく発展させ、地球上の広い範囲にわたってそれを伝播させることができたきっかけは、文字の発明であっただろう。
- ② 人は誰でも自分の言語をもっている。言語をつかさどる身体機能になんらかの障害があつて、ことばを自由に話すことができない人も、手話とか点字を使えば自分の意志を他者に伝えることができるから、その人にも、もって生まれた母国語が存在する。
- ③ しかしことばとは、もともと喉の声帯が空気をふるわせて生じた音波の連続に過ぎないから、口から発せられた瞬間に、そのことばはもう消滅してしまい、テープレコーダーのような機械を使わない限り、それを保存することはできない。つまり音声によることばは、瞬間にしか存在し得ないというわけだ。
- ④ 世の中にとてつもなく大きな声を出せる人がいる。しかしどんなに大きな声を出すことができても、その声が届く範囲にはもちろん限界がある。マイクロフォンを使ったとしても、そのことにはまったくかわりがない。したがって音声言語だけで、声の届かないところにいる人になにかを伝達することは絶対に不可能である。つまり音声による言葉は空間的にも大きな制約を持っている。
- ⑤ だから人類は、文字が発明されるまでの何十万年という、考えるだけで気が遠くなるほどの長

い間、お互いに直接顔を合わせる場か、あるいは口から出た声が届く範囲の内側でしか、他人とコミュニケーションがとれないという状況にあった。

- ⑥ だがこの状況は、文字の発明と使用によって根底からかわることとなった。人類は文字を使うことによって、口から発せられ、そのままでは瞬間的に消えてしまう音声を、ようやく「記録」という目に見える形で定着させることができた。文字とは特定の言語を表記するために開発された符号体系である。だから特定の言語と文字に関する知識を共有している人なら、誰かによって記録された文章を読むことで、そこに書かれている情報や知識を得ることが可能となった。
- ⑦ さらに文字は話しことばとちがい、さまざまな素材の上に記録できる。これまでの歴史の上で、世界各地で実にさまざまな素材に文字が書かれてきたが、それらの素材は、建物の壁や山の崖、あるいは非常に大きな石碑でもない限り、遠くまで移動することもそれほど困難ではなかった。こうして書かれた文字があちらこちらに移動することとなった。
- ⑧ 文字は文明を伝播させる乗り物である。この乗り物は、人間が運ぶことによって遠く離れた空間を飛び越えることができるし、さらに時間軸にそって運行することもできた。記録された文字によって知識が後世の人間に伝えられるし、後世の人間は、書物や遺跡から発見された記録によって、過去の状況を知ることができる。文字こそは人類の歴史におけるもっとも偉大な発明品であったといってよいだろう。

阿辻哲次（1999）『漢字の社会史』PHP 新書

1) 手順(1)にしたがって各段落をまとめなさい。なお、( ) には文章中から接続詞をひろって入れなさい。

① \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

③ ( ) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

⑤ ( ) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



## 第7課 要 約 (2)

練習 1 要約(1)の手順に従って要約しなさい。

### 敬語は必要か

①敬語は必要ない、人間は平等なのに敬語を使うのは変だ、と考える人がいる。また、敬語がない方が簡単だという考えもある。確かに敬語をきちんと使うのは難しい。そのため、敬語を使わなくてはいけないような場面、つまり目上の人やよく知らない人と話す機会を避ける若者も多い。その結果、敬語がますます使えなくなる。

②それでは、敬語はない方がいいのだろうか。そして、これから次第になくなっていくのだろうか。

③ここに、敬語についての高校生の意識調査の結果がある。この調査によると、敬語を知ってはいるがうまく使えないという人が多いことがわかる。しかし、高校生の多くは敬語を「人間関係をうまく調整するものだから、これからの世の中にも必要である」と思っており、「相手を思いやる心から生まれるもの」だととらえている。そして、大多数の人は、敬語を知らないと困ると考えている。

④この結果から考えてみると、敬語は今後もなくなるとは思えない。実際、会社などでは、新人社員の研修の時に厳しく敬語を練習させられる。また、大学の中には、いい会社に就職するために、言葉遣いのトレーニングをするところもあるそうだ。とにかく、敬語を身につけなければ社会でうまくやっていけない。では、どのようにしたら、敬語は身につくのだろうか。

⑤敬語は机の上では勉強できない。基本だけ覚えたら、実際にどんどん使ってみることが大切だ。間違えたらどうしようと思って、引込み思案にならないで、上下関係、親疎の関係のある場に積極的に出てみたらどうだろうか。

⑥ここで注意したいのは、敬語は言葉だけの問題ではない、ということである。敬語は相手に対する配慮を表したものだから、言葉だけではなく態度や行動にも気を配る必要がある。部屋を出るとき「失礼いたします。」と言っても、ドアをバンと大きな音をたてて閉めてしまったら、いやな感じがするだろう。逆に、顔を見たらあいさつをしたり、相手の名前を覚えたりするだけで、相手に敬意が伝わり人間関係はうまくいくこともある。まずはできるところから始めてみたらどうだろうか。

「敬語は必要か」『文化中級日本語』(2004)文化外国語専門学校 凡人社

1) 各段落をまとめなさい。

①

② \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2) 段落間の内容の関連性に注目して、文章の構造を確認しなさい。

3) 300字程度と150字程度の2つの要約文を作成しなさい。

## 第 8 課 原因と結果

### ポイント

ある事象における原因・理由と結果の関係を「因果関係」という。因果関係を述べる際には、原因・理由と結果の関係を論理的にわかりやすく述べなければならない。はっきり断言できない場合には、「～と思われる／考えられる」「～であろう／ではないだろうか」などの考察や推測の文末表現を用いることが大切である。

#### 因果関係の表現

原因・理由に重点をおく述べ方と、結果に重点をおく述べ方がある。下の 1、2 はそれぞれの述べ方の基本的な例である。

##### 1. 原因・理由 (A) に重点をおいて述べる場合

1) \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_. こ(そ)れは、\_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ から・ためである／ことによる。

例 地球の気温は年々上昇の傾向にある (B)。それは、大気中の炭酸ガス、メタン、窒素化合物などによる温室効果があらわれてきているためである。 (A)

2) \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_. この／その原因 (理由) には／として \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ がある／考えられる／挙げられる。

例 少子化の危機が叫ばれている (B)。原因として、未婚化、晩婚化のほか、経済的な問題、長時間労働、育児支援の貧困などが挙げられる (A) が、このうちの育児支援の貧困について考えてみたい。

3) \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_. なぜなら／というのは、\_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ から・ためである。

例 厚生労働省は2007年度から20～30歳代の女性を対象にした新たな禁煙キャンペーンを始める (B)。というのは、喫煙率は全体として下がる傾向にあるのに、20～30歳代の女性では上昇傾向にあるからで (A)、厚生労働省はこの事態を重く見ている。

##### 2. 結果 (B) に重点をおいて述べる場合

1) \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_. 結果的に／その結果／結果として、\_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_。

例 近年日本企業はこぞって生産コストの安いアジア諸外国に工場を移し生産をおこなってきた (A)。しかし結果として、国内生産の空洞化を招いてしまい、日本の雇用にとって痛手になったといえる (B)。

2) \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_。このことから、\_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_。

例 高齢化で今後ますます老人医療費は増えるであろう。その上少子化も進んでいる (A)。  
こうしたことから、将来就業者の社会保障費への負担はますます重くなると予測され、  
少子高齢化は政府にとっても国民にとっても大きな課題となっている (B)。

3) \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_。したがって/そのため/それ故/故に \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_。

例 かめばかむほど唾液の分泌がよくなる。また、かむと脳に神経伝達物質のヒスタミンが  
放出され、満腹中枢が刺激される (A)。したがって、食べ物をよくかむことは、消化を  
促進するとともに食べ過ぎも防ぎ、健康の増進につながる (B)。

**練習 1** 原因や結果を考え、下線部の文を書きなさい。

1) 最近肥満に悩みダイエットに励む人々が増えている。肥満の原因として考えられるのは、

\_\_\_\_\_

肥満の結果 \_\_\_\_\_

2) \_\_\_\_\_

そのため自動車業界はハイブリッド車などいわゆるエコカーの開発に力を入れている。

3) ロボットの研究開発が進んでいる。ロボットの開発が進むことによって、将来は工場の生産現場だけでなく \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

4) 2004年の国際的な学習到達度調査で、日本の中学生の読解力が大きく低下していることがわかった。原因として \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

5) 犬や猫などのペットを飼育放棄して捨てる人が増えている。そのため \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

また、琵琶湖などではペットとして飼育していたブラックバスなどの魚食性の外来魚を放流する人が増えた結果、 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

6) 2006年の労働経済白書によると、特に20代の若者で所得格差が広がっている。原因としてまず、

\_\_\_\_\_

また、\_\_\_\_\_

**練習 2** 次の文章を読み、文章中に含まれている原因、結果、その関係を下に書き出しなさい。

オゾンホールは、最初は南極上空で観測されていたただけだったが、その後中緯度地方や北極の空でも観測されるようになり、地球全体の現象であることがはっきりしてきた。オゾン層が破壊されると、生物に有害な紫外線が容赦なく地球に届くようになって、皮膚ガンが多発するようになり、多数の死者が出るようになる。また、植物には成育障害が広がり、農作物の収穫量にも大きな影響が出てくる。

では、どうしてオゾン層の破壊が急速に進行するようになったのか。その原因は、フロンガスの大気への放出にある。フロンガスは、20世紀前半にアメリカで初めて合成された、100%人工の化合物である。毒性が低く、化学的に安定しており燃えにくいので、クーラーの冷媒やスプレーの噴射剤、電子部品や精密機器の洗浄剤などとしてひろく使われるようになった。ところが、このフロンガスが上空へまいあがると、オゾン層を分解し、オゾン層を破壊してしまうのである。このように、オゾン層破壊の因果関係は単純明快であり、なにをなすべきかは、あまりにはっきりしている。

岩淵孝 (1992) 『地球を旅する地理の本』大月書店

(a) オゾン層の破壊

(b) 結果 1 :

(c) 結果 2 :

(d) フロンガスの使用

(e) 結果 :

(a)(b)(c)(d)(e)の因果関係を、矢印 (原因→結果) で下に図示しなさい。

**練習 3** 次の文章を読み、質問に答えなさい。

(前略) 半世紀の歴史を迎えようとするテレビは、今人々にとってどのような存在であるのか。1つの家に2台以上のテレビがあるというのも珍しいことではないが、ほかのさまざまなメディアの影響を受け、テレビ離れということは起こっていないのか。NHK (日本放送協会) が1985年から5年ごとに行なっている調査結果をもとに考えてみたい。(中略)

図2はテレビの重要度について示したものであるが、

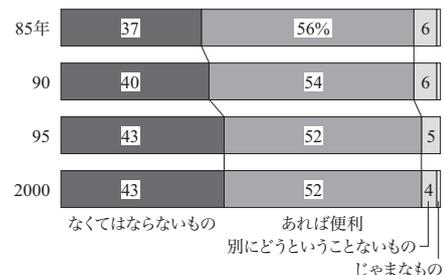


図2 テレビの重要度

「あなたにとってテレビとはどういう存在か」という質問に対し、「なくてはならないもの」という回答は前回の調査と同じ割合にとどまった。これまでの調査においては、常にその割合が前の回を上回っていたが、今回初めて伸びが止まり、重要度の鈍りが感じられる。

しかしこれを年齢別に分析すると（図3）、20・30代の若い年齢層と60代では、「あれば便利」が減少し、「なくてはならないもの」が増加していることがわかる。これには、若い層にとって、 A ということや、 B ということが原因としてあるように思われる。また、60代以降の人々には、限られたメディア利用の中で、テレビが  C  ためではないかと推察される。（中略）

では、人々はどのような目的には、どのメディアが役に立つと思っているのか。これについては図6のような結果が出ている。目的により、それぞれの特徴は異なっているが、テレビは多くの項目において高い評価を得たようである。特に、       や        ではテレビが全体の6割前後を占めている。やはり、これは視覚と聴覚どちらにも訴えられる利点が認められてのことであろう。（中略）

以上の結果から見る限り、総体的には、テレビは現在も日本人にとって生活に密着したメディアである（D）といえよう。

アカデミック・ジャパニーズ研究会（2002）『大学・大学院 留学生の日本語③論文読解編』アルク（上村修一他（2002）「日本人とテレビ」『放送研究と調査』NHK 放送文化研究所を引用して書き下ろしたもの）

- 1) 下線A、B、Cに入る原因として、どんなことが考えられるか考え、下書きなさい。また、二つの        に入る図6の中の項目を文中に書き入れなさい。

A : \_\_\_\_\_  
 B : \_\_\_\_\_  
 C : \_\_\_\_\_

- 2) 下線部D「生活に密着したメディアである」とは、具体的にどんなことを指すのか図6から考え、下書きなさい。

\_\_\_\_\_

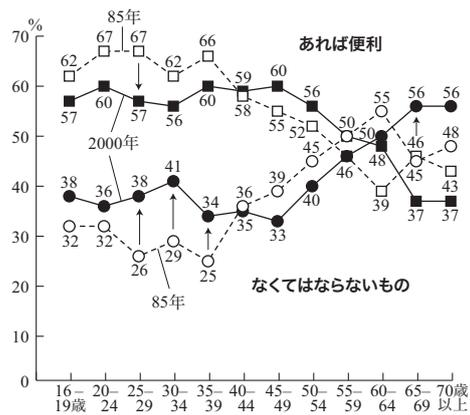


図3 テレビの重要度（年齢別）

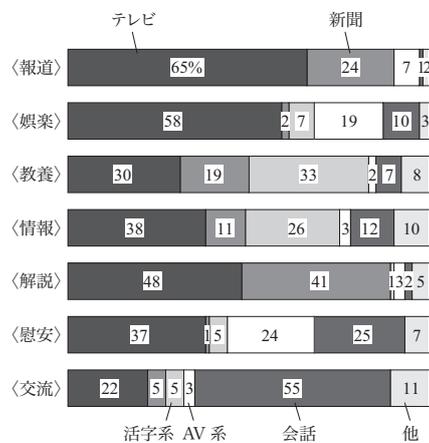
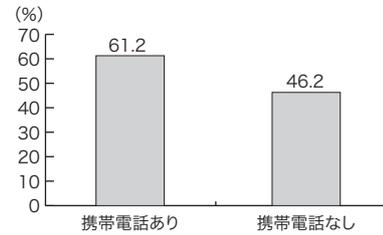


図6 メディアの効用比較

練習4 次の文章を読んで質問に答えなさい。

子供に携帯電話を持たせることについて、賛否両論の議論がなされている。子供の側からすれば、「みんな持っているから」「持っていないと仲間外れにされる」という主張から欲しがらる割合が多いようだが、親の側からするとどうだろうか。「生活者一万人アンケート調査」から、30代女性（長子の年齢は平均8.3歳）が子供の教育に不安を感じる割合を、子供に携帯電話を持たせているかどうかで分けてみた。その結果、         A          ことがわかった。



図表2-28 子供の教育が不安であると思う割合

不安を感じる要素としては、いくつか考えられるだろう。「子供の居場所がわかるように」「子供が仲間外れにならないように」と、もともと高い不安を少しでも減らすために持たせている場合もあると思われる。しかし、最も大きな要素は、         B          ことにあるのではないだろうか。

最近話題になることが多い「メル友（電子メールなどを通じて知り合った友人）」関連の事件にみられるように、好ましくない人物と知り合ってしまう可能性も高いであろう。また、携帯電話を持って部屋に閉じこもってしまい親との          C          ことも考えられ、子供が携帯電話を持つことによって増す教育上の不安は大きい。

親の側でも、「メール機能は申し込まない」「発信は特定番号にしかできないようにする」「通話料金は一定額以上はお小遣いから」など様々な対策を講じているようだが、今後も携帯電話の普及が子供の教育に          D          ものと考えられる。

野村総合研究所 日戸浩之・塩崎潤一執筆（2001）『続・変りゆく日本人』野村総合研究所

1) 図表2-28からAの欄に入る結果を考え、下書きなさい。

---

---

2) Bの欄に入る原因を考え、下書きなさい。

---

---

3) Cの欄に入る結果を考え、下書きなさい。

---

---

4) Dの欄に予測できる結果を書きなさい。

---

---

## 第9課 比較検討

### ポイント

ある結論に導くための根拠として、二つあるいはそれ以上の物事を取りあげ、比較検討することがある。その場合、いくつかの項目を立てそれぞれの点について対比し、その違いを明らかにする。

文章化する際には、まず、練習3の例のように表にして考えを整理するとよい。例は電話とメールの違いを項目ごとに明らかにして、結論に導いたものである。

#### 比較検討に用いられる表現

一方、一方で、これ（それ）に対し、～のに対し、  
これ（それ）に反し、反対に、逆に、他方、反面 など

#### 比較検討の表現を用いた文章の例

- 1) 電話をかける時には受け手の都合を考える必要がある。それに対して、メールはいつでも送信できる。受け手は自分の都合のいい時に見さえすればよい。
- 2) メールを送り手は書いた文章を何度でも訂正できる。また、受け手の側も読み直しが可能である。一方、電話ではいったん発せられた言葉はその場で消える。つまり、その場限りのものである。

練習1 次の1)～3)の文章を読み、図を完成しなさい。

には対比されているもの、下線部にはその違いの説明を、また★には対比によって説明される事実や筆者の言いたいことを、それぞれ書き入れなさい。

- 1) デジタルカメラは販売以来ずっと売り上げを伸ばしているのに対し、フィルムカメラの市場規模は急激に縮小している。こういったことを受け、A社は一部のフィルムカメラの製造中止を決断した。B社もすでにある種のフィルムカメラの製造中止を発表している。一方、C社は今後もフィルムカメラの製造を続けることを表明している。

1)の図

<input type="text"/>	_____
<input type="text"/>	_____
(その結果)	
★ <input type="text"/>	_____
<input type="text"/>	_____

2) 日本の出版物（発行部数）の約三分の一はマンガであり、世界最大のストーリーマンガの生産国である。

とりわけ、マンガが原作となったアニメは世界中に輸出され、『美少女戦士セーラームーン』や『ドラゴンボール』は、日本の首相より遙かに知名度が高いはずである。何故、これほどまでに社会的影響力が強いのか——。最大の理由は伝達力の高さである。百聞は一見に如かず、であるから、絵で見せれば伝わりやすいのは当然のことである。

ビジュアルな表現で考えるなら、映画もテレビも同様である。ところが映画やテレビは、一回見た場面を遡って見ることができない。マンガは、何度でも自分の好きなページを遡ることができる。自分のペースで読むことができるのである。だから、受け取り手にとって理解しやすい形になっている。

また、映画は映画館、テレビはお茶の間で鑑賞しなければならない。最近は、携帯用のテレビもあるが、それでも一般的なものとは言えない。その点、マンガはいつでもどこでも読むことができる。場所や時間を選ばないのである。

伝達力に加えて簡便性にも優れている。 (以下略)

竹内一郎 (2005) 『人は見た目が9割』 新潮社

2)の図

★マンガの社会的影響力の強さは伝達力の高さにある。	
<input type="text"/>	_____
<input type="text"/>	_____
また、	
<input type="text"/>	_____
<input type="text"/>	_____
★マンガは_____	

3) マンガがつまらなくなったという声をよく聞く。だがそれは違うと本書の著者はいう。手塚治虫の作品を規範として育ち、戦後マンガの奇跡的な成長を支えた読者や評論家に、今のマンガの魅力が分からなくなったのである。テヅカ イズ デッドと宣告される理由だ。

その決定的な分水嶺は1980年代半ばにあると著者は分析する。そのとき日本マンガに何が起こったのか？ キャラクターからキャラへの移行である。

キャラクターとは、絵の背後に人生や生活を想像させ、内面を感じさせる人物像である。ひと言で言えば、物語性を生きる存在だ。これに対して、キャラは、固有名をもち、人格的な存在感もつが人生や内面をもたない。だから、これまでのマンガの読者はキャラに同一化することができない。にもかかわらず、現在のマンガをささえる読者は、現実的な身体性を欠いたキャラに強く感情的に反応する。読者のかなり一方的なこの感情的反応が、「萌え」と呼ばれる。

80年代後半以降のマンガのなかでは、物語よりもキャラの魅力が優位に立ち、マンガ家の自己表現より読者の「萌え」の方が大事な要素になった。近代的な自己表現としての物語の終わり。すなわち、ポストモダンへの突入である。 (以下 略)

2005年11月13日付朝日新聞 中条省平 書評

3)の図

★戦後マンガを支えた読者や評論家には今のマンガの魅力がわからなくなった。

1980年代半ばに  から  へ移行

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**練習 2** ネット販売と店頭販売を比較する文章を完成しなさい。

インターネットショッピングを利用する人が増えている。ネット販売と店頭販売には、どのような違いがあるのだろうか。

まず、品揃えという点から考えてみる。ネット販売は\_\_\_\_\_。

一方、店頭販売は\_\_\_\_\_。

次に、価格の点では、ネット販売\_\_\_\_\_。

それに対し、店頭販売は\_\_\_\_\_。

さらに、買い物ができる時間と場所という点では、ネット販売は\_\_\_\_\_のに対し、店頭販売は\_\_\_\_\_。

以上述べてきたように、購買者の利便性を考えると、ネット販売は有利だと考えられる。したがって、これからも利用する人は増えていくであろう。

**練習3** 任意の二つをとりあげ比較検討し、何らかの結論を導き出します。まず、例のように表を作成しなさい。それをもとに400字程度の文章にしなさい。

例 電話とメール

序論（比較の目的）

以前は会社や学校、サークルなどでも連絡事項は電話で行っていた。しかし、最近はメールを用いることが多くなってきている。その理由を考えてみる。



本論

比較項目 \ 比較対象	メール	電話
時間	いつでも	受け手の都合優先
内容の推敲	可能	その場限り
費用	安い	メールほど安くない



結論

このようなことから、連絡事項はメールを用いることが多くなってきたのであろう。



## 第 10 課 事実と意見を書き分ける

### ポイント

1. レポートや論文を書くときには、事実と意見を書き分ける必要がある。

事実とは、証拠をあげて裏づけすることのできるものである。引用文は出所を確認する道が示されていていれば事実の記述とされる。

意見とは、書き手の判断を述べるものである。意見を述べるときには、その意見に根拠があるかどうか、つまり事実に裏づけられているかどうかを心がける。根拠のある意見は読み手を納得させる力をもつからである。

次の例(1)(2)は事実であり、(3)(4)は意見である。

- (1) 日本では、義務教育年限は9年である。
- (2) 平成26年度の大学・短期大学への進学率は53.9%であった。
- (3) 努力すれば報われる。
- (4) 本も新聞も読まない大学生は、大学生と言えないのではないだろうか。

2. 意見文の文末には、判断を表す表現と、主張を表す表現が使われる。

次の例(1)(2)の下線部は判断を表す表現であり、(3)(4)は主張を表す表現である。判断を表す表現は、書き手の判断を弱めるのに用いられる。

- (1) 一般市民にとって、裁判員に選ばれることは負担が大きすぎると思われる。
- (2) 台風15号による土砂崩れは天災だと言われているが、むしろ乱開発による人災だと言えるだろう。
- (3) 進行する少子化に対しては、早急な対策をとる必要がある。
- (4) 脳死を人の死とすることには賛成できない。

次の例(5)も意見を述べた文である。

- (5) 柔道は心身を鍛えるには最適のスポーツだ。

意見を述べるときに用いられる文末表現については、(p. 50)を参照のこと。

**練習 1** 次の文／文章の下線の部分が意見なら「イ」、事実なら「ジ」と書きなさい。

1) お話をうかがう、という形でするインタビューの際に、最近ではテープで録音する人が増えている。録音機を用いるときは、あらかじめ相手の許しを得ておかななくてはならないのは当然だ。

轡田隆史『「考える力」をつける本』三笠書房

2) 16世紀の文豪シェークスピアの数々の名作は、実は英国の外交官の作品だった――。5日付の英紙ザ・タイムズなどは、世界の文学史を塗り替えるような研究論文が10月25日に出版さ

れると報じた。

- 3) 世界には3000～7000ほどの言語があると言われているが、その正確な数はわかっていない。
- 4) 文化というものは不思議なもので、そのなかについて見ているのと、外から見ているのとでは、大分異なって見える。  
河合隼雄『「日本人」という病』潮ライブラリー
- 5) 若者の早期離職は、就職して3年以内に辞める割合が中学卒は7割、高校卒は5割、大学卒で3割であることから、「七五三現象」と名付けられている。
- 6) 最近、携帯電話のエチケットがよく取り沙汰される。新幹線だったら、迷惑だということで、デッキで使われるよう注意されるが、あれはどういうことだろう。たしかに携帯電話の人はやけに大きな声になってしまい、それが、迷惑だと感じる者もいるだろう。だが、「やけに大きな声の人」は、なにも、携帯電話使用者に限らないのではないか。  
宮沢章夫『茫然とする技術』筑摩書房
- 7) ネットでは、仕事を始めたい若者の就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」を行っている。(中略) ジョブトレに通う若者の中には、1度もアルバイトしたことがない人もいれば、何らかの理由で仕事ができなくなってしまった人もいる。
- 8) ここ数年、新入社員の研修を担当しているが、敬語を使えない若者が増加しているように思う。
- 9) 名古屋の夏の暑さは全国でも指折りである。この暑さはヒート・アイランド現象によるものだと考えられる。
- 10) 裁判員制度が始まった。2009年8月7日付の朝日新聞によると、裁判員一人一人が意見を述べたという。

**練習 2** 次の文／文章を読んで、どこが問題なのか指摘しなさい。

例 小学校1年生からの英語教育は必要だと思う。語学の勉強は早く始めれば始めるほどいいと言われているように、1年生から勉強すれば英語の力がつくからである。したがって、小学校1年生からの英語教育に賛成する。

→「1年生から勉強すれば英語の力がつく」かどうかは実証できるデータがなく、事実とは言えない。それにもかかわらず、それが「したがって、小学校1年生からの英語教育に賛成する」という結論を導くのに使われているところが問題である。

- 1) 今の若者の日本語はひどい。それは文章にも表れている。そういう人は日本人としての自覚や愛国心も薄れてきている。
- 2) 国際語である英語は必要であるが、小学校から英語を学習させると、日本人としてのあり方や礼儀を軽く見ることにつながる。
- 3) 経済的に苦しい人は自費で英語を学ばせることはできないから、小学校で英語の授業をとりいれたほうがいい。だから私は日本語と英語を7対3くらいで教えればいいと思う。
- 4) 子どもたちの日本語力が低下している。母国語である日本語を上手に使えない子どもは外国語が上手に使えるはずがない。だから、小学校で英語を教えることに反対だ。
- 5) 米の消費量が減っている。私の周りの人もハンバーガーなどを食べる人が多く、米を食べる人が少なくなった。ハンバーガーの店が減れば、米の消費量が増える。

**練習3** 文を完成させ、完成させた文が判断か主張かを書きなさい。

- 1) 今後温暖化はますます \_\_\_\_\_
- 2) 公共の場ではもっとマナーを \_\_\_\_\_
- 3) 健康で長生きするためには、 \_\_\_\_\_
- 4) 死刑は廃止すべきだという意見がある。しかし、被害者の家族の気持ちを考えれば、  
\_\_\_\_\_
- 5) 故障の原因は整備ミス \_\_\_\_\_
- 6) 若者の雇用問題は早急に \_\_\_\_\_

練習4

以下の意見を述べる場合、どんな根拠が考えられるか書きなさい。また、根拠となる資料が得られるかどうかを考えなさい。

例 意見：駅周辺は禁煙にすべきだ

根拠①：ポイ捨てによるゴミで駅周辺が汚される

②：混雑した場所での喫煙は、受動喫煙被害につながる

③：ポイ捨てによって火事の危険性もある

1) 意見：コンビニは便利だ

---

---

---

2) 意見：都心への車の乗り入れは規制すべきだ

---

---

---

3) 意見：小学生に携帯電話を持たせるべきだ／べきではない

---

---

---

※意見文に用いられる文末表現

判 断	主 張
<ul style="list-style-type: none"> <li>・～だ、～である</li> <li>・～と言える ～と言えるだろう ～と言えよう</li> <li>・～だろう、～であろう</li> <li>・～(だ) と考えられる</li> <li>・～にちがいない</li> <li>・～(の) はずだ</li> <li>・～(の) ようだ ～かもしれない</li> <li>・～(の) ではないか ～(の) ではないだろうか ～(の) ではなかろうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・～なければならない</li> <li>・～べきだ、～べきである ～べきだろう</li> <li>・～することが必要だ ～することが重要だ</li> <li>・～したほうがいい ～したほうがいいのではないか、 ～したほうがいいのではないだろうか</li> <li>・～してもいい</li> <li>・～たい、～う・よう</li> <li>・～べきではないか ～べきではないだろうか</li> </ul>

(佐藤政光他 (1987) 『実践にほんごの作文』 凡人社を参考に作成)

---

## 第 11 課 定義、分類、列挙

---

### ポイント

1. ここで扱う「定義」とは、重要な語や一般的になじみのない語について、その意味内容を説明したり限定することである。
2. 分類や列挙は、あることがらを何かの観点でいくつかに分け（分類）、それぞれについて説明を加える方法である。
3. 列挙の表現は、分類とは関係のない場面でも並列的に項目を挙げる場合に使われる（理由をいくつか挙げる場合など）。

#### 定義、分類、列挙に用いられる表現

##### 1. 定義

～というのは～（のこと）である

～とは～である

例・食糧自給率とは、国内の食料消費が国内の農業生産でどの程度まかなえているかを示す指標のことである。

・UN とは United Nations の略である。

～を～という／と呼ぶ

～を～と定義する／とする

例・俳句の中で季節を表すことばを季語という。

・ここでは、早期英語教育を「小学校一年生からの英語教育」と定義する。

##### 2. 分類、列挙

～は～に分けられる

～には～ある

第一に……、第二に……

まず……、次に（また）……、さらに……（最後に……）

例・食糧自給率は算出方法によって三つある。第一に重さで計算する重量ベース自給率、第二にカロリーで計算するカロリーベース総合食糧自給率、第三に生産額で計算する生産額ベース総合食糧自給率である。

～はAとB（と）に分けられる

～にはAとB（と）がある

Aは……Bは……

Aというのは……Bというのは……

例・火災報知機は、設置する場所によって、天井に設置するタイプと壁に設置するタイプとに

分けられる。天井に設置するタイプは……。壁に設置するタイプは……。

☆列挙には番号をふって示す方法もある

- 1) ……
- 2) ……

**練習1** 空欄を埋めなさい。

- 1) ニュースをテレビなどのメディアを通して不特定多数に向け発信するもの ( ) マス・メディア ( )。
- 2) 評論家の岡田斗司夫は、「オタク」( ) 「進化した視覚を持ち、高度消費社会の文化状況に対応した人間」( )
- 3) 霊長類学 ( ) ニホンザルやチンパンジーを対象としてその形質の進化と変異を研究する学問の ( )
- 4) サルは大きく次の四つに ( )。( ) <sup>げんえん</sup>原猿であるが、これはあまりサルらしくない原始的なサルである。( ) <sup>こうびえん</sup>あげられる広鼻猿は新世界猿とも呼ばれ、中南米に住んでいる。( ) <sup>きょうびえん</sup>狭鼻猿であるが、これは新世界猿に対して旧世界猿と呼ばれ、アフリカとアジアに住んでいる。( ) は類人猿で、これは私たちヒトに最も近い種類で、しっぽを持っていない。

**練習2** 下はある学生がとった講義のノートである。このノートをもとに、定義・分類などの表現を使って文章を書きなさい。

年中行事：毎年同じ時期にきまってくるかえされる行事

イエが主催……私的な行事

正月の<sup>としがみ</sup>歳神まつり、節分の豆まき、雛の節供、端午の節供、彼岸や盆の墓参り

ムラが主催……公的な行事

小正月のトンド（ドンド）、花見、磯遊び、夏越しの節供行事、夏祭り、秋祭り

神崎宣武（2005）『「まつり」の食文化』角川学芸出版

年中行事とは

---

---

---

---

---

**練習 3** 下の図をもとに、定義、分類などの表現を使って文章を書きなさい。

世代……生まれた時期が同じ  
時代的・社会的に何らかの意味をもつ集団

戦後の新しい教育制度のもとに小学校入学：1939年生まれ

戦後30年目に青春期（16歳）：1959年生まれ



『現代日本人の意識構造 [第五版]』(2001) NHK 放送文化研究所

**練習 4** あるテーマについて説明する文章を書きます。まず、定義、分類、列挙を明らかにするメモを作りなさい。次にそのメモをもとに400字以内で文章を書きなさい。  
(※「地図の分類」参照のこと)

- 例・日本のプロ野球の組織について
- ・自分の携帯の機能やサービスについて
  - ・音楽のジャンルについて
  - ・その他（自分のよく知っている分野について）

## ❖地図の分類

例) 地図について

〈メモ〉

### 地図の分類

- I. 一般地図……多目的用
  1. 25000分の1地形図
  2. 50000分の1地形図
  3. その他
- II. 主題地図……特定の目的のため
  1. 分布図   ①植物分布図   ②言語分布図   ③その他
  2. 海図
  3. 土地利用図
  4. 天気図
  5. 道路地図
  6. 鉄道地図
  7. その他

地図は、使う目的によって、一般地図と主題地図に分けられる。

一般地図とは多目的用に作られた地図である。よく目にする2万5千分の1地形図や5万分の1地形図などがそれである。ある町がどこにあるか、ある所とある所はどのくらい離れているか、などを知ることができる。

主題地図とは、特定の目的のために作られた地図である。分布図、海図、土地利用図など、さまざまなものがある。分布図には、植物分布図、言語分布図などがある。たとえば、熱帯雨林はどこか、スペイン語はどこで話されているかなどが一見してわかるようになっている。海図は船のための地図である。土地利用図は、ある土地が住宅地になっているのか、工業地帯になっているのか、あるいは森林なのかなどを見ることができる地図である。また、新聞やテレビの天気予報で目にする天気図や、旅行に必要な道路地図、鉄道地図なども主題地図の一つである。

アカデミック・ジャパニーズ研究会編著(2002)「地図の分類」  
『大学・大学院 留学生の日本語 ①読解編』アルク

## 第12課 意見文を書く（基礎練習 1）

### ポイント

この課では、意見文から論拠を引用して賛成または反対の意見を述べる練習をする。

意見文を引用して賛成または反対の意見を述べるにあたっては、対象とする意見文の論拠について、本当にそう言えるのか、根拠がある一面にすぎず不足しているのではないかなどの観点から批判的に検討することが大切である。これによって、自分の主張をより合理的かつ明確なものとすることができる。

また、引用する際の出典の示し方や、賛成の意見を述べるのか反対の意見を述べるのかに応じた表現を学ぶことも、この課の重要なポイントである。

#### 1. 引用して意見を述べる（モデル文）

以下の例(1)~(4)は、それぞれ新聞に投稿された意見文とそれに対して賛成または反対の意見を述べた文からなっている。各例の前者については、筆者の主張と論拠を書きなさい。後者については、出典の示し方、引用先の文からの引用のし方、賛成または反対を表わす表現を確認しなさい。

#### (例1)

岡本 和人 会社員（東京都 26歳）

現在、日本には5万店を超えるコンビニがあり、その8割強が24時間営業をしているという。地球温暖化対策や青少年非行防止の観点から、コンビニの深夜営業規制を検討する自治体が相次いでいるという記事（日日新聞 平成20年6月30日）を目にした。コンビニが16時間営業にすることでCO<sub>2</sub>の排出量をコンビニ業界全体で3～4%削減できるという（日日新聞 平成19年11月30日）。深夜営業を規制することでたとえわずかであってもCO<sub>2</sub>の排出量を減らすことができるのであれば、規制を検討するべきではないだろうか。（毎朝新聞 平成20年7月16日）

筆者の主張：コンビニの深夜営業規制を検討するべきだ

論拠：16時間営業にすることでCO<sub>2</sub>の排出量をコンビニ業界全体で3～4%削減できる

#### 〈反対意見〉

平成20年7月16日付の毎朝新聞で岡本は、地球温暖化防止の観点からも自治体のコンビニへの深夜営業規制は必要だと述べているが、はたしてそれは意味のあることだろうか。

コンビニの二酸化炭素排出量は国内全体の排出量のわずか0.2%であり、コンビニ業界では24時間営業をする中で、さらに排出量の削減努力を続けているという（日本フランチャイズ・チェーン協会、2006年）。実際、節電のため店内の照明をかなり暗めになっている店舗をよく見かける。（後略）

(例2)

主婦 田中 好美 (岐阜県 45歳)

中学校の制服は今の時代もやはり必要である。制服のよい点は、まず経済的であることだ。いったん購入すれば3年間着られる。兄弟が同じ学校に通っていれば、もらい受けることもできる。(中略) 次に、便利であることだ。朝の忙しい時間に何を着ていくか迷う必要がない。また、冠婚葬祭などすべての場面で着用できるのもよい点だ。(後略) (毎朝新聞 2016年8月10日朝刊)

筆者の主張：

論拠：

〈賛成意見〉

2016年8月10日付毎朝新聞で田中は制服は経済的だと述べているが、わたしもそう考える。毎朝新聞(2016年10月10日付)によると、学生服は機能性や耐久性において、高い水準が求められ、それを十分に満たしているという。そのおかげで3年間、夏冬2着で済むのだから、決して高くはないと言えよう。制服がなくなると、季節に合わせて、また、体の成長に合わせて何枚もの服が必要になる。一つ一つの価格が安いものであっても、最終的には決して経済的とは言えなくなるのではないだろうか。

(例3)

川田 満男 会社員 (神奈川県 58歳)

私は車で出勤しているが、交通ルール無視の自転車の多さが気になる。交差点で左折しようとしてウィンカーを出していても、平気で左側をすり抜れたり、道路の右側を走ったり、さらには信号や一時停止の無視、スマホを見ながらの走行、夜間の無灯火と、傍若無人な運転が後を絶たない。

昨年6月から悪質・危険運転を繰り返す自転車運転者に、安全講習が義務付けられた。しかし、安全講習などという生ぬるい方法では、傍若無人な運転は減らないだろう。私は、もはや自転車にも専用の運転免許制を導入するしかないと思うのだが、どうだろうか。

(毎朝新聞 2016年8月27日)

筆者の主張：

論拠：

〈賛成意見〉

川田は毎朝新聞(2016年8月27日付)で、安全講習を課したとしても、悪質・危険運転による自転車事故が減るとは思えないとして、「自転車にも専用の運転免許制を導入するしかない」と述べている。私も川田の言うように、安全講習では大きな効果が望めないと思う。自動車と同様に免許を持っている人だけが運転でき、違反をしたら罰則が与えられる制度にすれば、安全な環境に近づくのではないか。警視庁(2016)によれば、平成27年中の全国自転車事故件数は101,219件で、全交通事故に占める割合は18.4%であり、死者は572人、交通事故全死者に占める割合は13.9%と

いうことである。これが少しでも減少するなら意義のあることだと思う。

(例4)

高村加奈子 高校生 (三重県17歳)

選挙権年齢が18歳以上になり、私も以前より選挙に興味を持つようになりました。

しかし、私は18歳、19歳に選挙権が与えられるようになったことは、あまりよいこととは思えません。中には、選挙権を得たことの意味があまりわかっておらず、適当に投票してしまう人もいられるでしょう。安易な気持ちで投票したことが今後の生活に影響するかもしれません。

私は、選挙権を持つ年齢は、きちんと政治を理解し、自分の意見を考えられるようになる20歳以上でいいと思います。 (毎朝新聞 2016年8月9日)

筆者の主張：

論拠：

〈反対意見〉

高村は毎朝新聞の発言欄(2016年8月9日付)で、18歳に選挙権はまだ早いと述べているが、はたしてそうであろうか。安易な気持ちでよくわからないまま投票してしまうよりも、きちんと政治を理解し、自分の意見を考えられる20歳以上になってからがいい、というのがその理由である。

しかし、20歳までの2年間をただ過ごすだけで、政治が理解できたり自分の意見が持てたりするものだろうか。今回の選挙でも、多くの18歳が新聞を読んだりして勉強したはずである。安易な気持ちで投票することのないよう、それなりの努力をすることが必要なのではないだろうか。

## 2. 練習

以下の1～2の文の引用部分について批判的に検討し、それに続く文章を書きなさい。

(なお、実際に書くのは本論の一部であるが、文章の全体像、アウトラインをイメージした上で書くこと。)

(200字程度)

- 1) 2016年8月10日付毎朝新聞で田中は「制服はいったん購入すれば3年間着られる」ので、経済的だと述べているが、本当にそうだろうか。
- 2) 川田は毎朝新聞(2016年8月27日付)で、安全講習をしても自転車による事故が減ると思えないので、「自転車にも専用の運転免許制を導入するしかない。」と述べているが、そうだろうか。

---

## 第 13 課 意見文を書く (基礎練習 2)

---



次の文の引用部分について多角的に検討した上で、それに続く文章を書きなさい。(なお、実際に書くのは本論の一部であるが、文章の全体像、アウトラインをイメージした上で書くこと。) (200字程度)

高村は毎朝新聞の発言欄 (2016年8月9日付) で、18歳では、選挙権を得たことの意味があまりわからず、適当に投票してしまう人もいるかもしれないので、18歳に選挙権はまだ早いと述べているが、私も高村の意見を支持する。

## 第14課 意見文を書く(1)

### ポイント

- 1) 根拠に裏打ちされた意見文は説得力がある。自分の意見が独りよがりのものではなく、客観的事実から導き出されたものであれば、より正当性があるといえる。
- 2) レポートなどで文献を引用したり、参考にしたりした場合は必ず出典を明らかにしなければならない。他人の意見や理論をさも自分の意見であるように書いてはいけない。Web ページを参考にした場合はアドレスや制作者を明らかにする必要がある。

#### 意見文 例 夏季のエアコン28度設定に反対

環境省は温室効果ガス削減のため、夏のエアコンの温度設定を28度にとよびかけている。しかし、28度設定では、暑いと感じる人もいるだろう。ここ<sup>\*1</sup>では夏季のエアコン28度設定について論じる。筆者はこれに反対する。理由は以下の2点である。

第一の理由は、28度設定では、仕事の効率が落ちるとい点である。静かに横になっているのであれば、28度設定でも暑さを感じることなく過ごせるだろう。しかし、効率よく仕事をしようとするれば、ある程度体を動かさなくてはならない。28度設定では、暑くて仕事に集中できないのではないだろうか。環境省(2007)によると、平成19年に行ったアンケート調査で、勤務先がエアコンの温度を高め設定していると答えた人の割合は48.1%と全体の半数に満たなかった。高めに設定しなかった人々は、仕事がかどらない、快適ではないと思ったのではないだろうか。

第二の理由は、エアコンの温度を28度に設定しても、温室効果ガスである二酸化炭素の削減にそれほど役立たないという点である。エアコンの温度28度設定は、電気使用量を減らし、二酸化炭素を削減する取り組みである。しかし、直接多くの二酸化炭素を排出している化学工場や自動車の排出ガスを規制することのほうが有効だと考えられる。国土交通省(2012)によると2011年の二酸化炭素の排出量は「産業部門」が33.8%、「運輸部門」が18.6%であり、この2部門で52.4%を占めている。それに比べ、事業所・ビルなどの「業務その他」は20.0%にすぎない。二酸化炭素の排出量を抑えるためには二酸化炭素総排出量の半数を占める工場、車、トラックなどへの対策をさらに進めることのほうが重要だと考えられる。

以上述べてきたように、28度設定では仕事の効率が落ちると考えることと、28度に設定しても二酸化炭素削減にそれほど役立たないことから、夏季のエアコン28度設定に反対である。

※1：短い意見文では、「ここ」であるが、論文などでは、「本稿」となる。

引用文献

環境省 (2007) 「みんなで止めよう温暖化一チーム・マイナス6%」 (2007年度の「COOL BIZ」の成果について)

<http://www.team-6jp/report/news/2007/11/071120a.html> 2009/7/15

国土交通省 (2012) 「運輸部門における二酸化炭素排出量」

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei\\_environment\\_tk\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html) 2013/11/23

**練習 1** 意見文「夏季のエアコン28度設定に反対」について論点 (その理由)、根拠 (論点を支えるデータ) を書きなさい。

論点 1 28度設定では、\_\_\_\_\_

根拠 1 \_\_\_\_\_ によると \_\_\_\_\_

論点 2 エアコンの温度を28度に設定しても \_\_\_\_\_

根拠 2 \_\_\_\_\_ によると \_\_\_\_\_

## ❖ 引用 の 仕 方

引用は、自分の考えていることと他人の考えていることをはっきり区別するためや、自分の用いた資料に読者がたどりつけるようにするためにする。

文献をそのまま引用する場合は「」をつけてそのまま書く。また要約する場合は「」は用いない。引用の仕方には、「注」を使わない場合と使う場合がある。いずれの方法を用いるかは、学問分野によって異なる。(なお、Microsoft Word では、設定することにより、自動的に脚注あるいは文末脚注を付けることができる。)

### 1. 「注」を用いない場合

#### 例 1

これ以上の格差是正は求めないという価値観も出てきていると言われる(今田孝夫「ポストモダンの社会格差」)。

#### 例 2

山田(2001)はこの点について日本人にとっては当然のことであると論じている。

#### 例 3

近年の所得格差の要因について三浦(2005)は「経済学的には、所得格差の大きい高齢者の増加が主であると言われている」と述べている。

## ❖ 文献リストの作り方

文末の文献リストは著者の五十音順に載せる。

文献リストは一般的には以下のように書く。

### ①書籍

著者名(出版年)『タイトル』出版社名

例三浦展(2005)『下流社会』光文社

### ②論文

著者名(発表年)「タイトル」『雑誌名』号 掲載ページ

例今田孝夫(2000)「ポストモダンの社会格差」『日本の階層』第2号 pp. 21-35

### ③Web ページ

制作者名(作成年)「タイトル」URL アクセスした年月日

例環境省(2007)「環境白書」

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h19/html/hi07010304.html> 2009/07/16

### ④新聞

新聞名「記事のタイトル」日付 または 新聞名 日付 朝刊または夕刊 面

朝日新聞 「政権の行方」2009年9月21日付朝刊5面

\*参考にした部分はその著作全体にのぼる場合はページ数を載せない場合もある。

\*学問分野によって、ページの表示の仕方は違うことがある。

### 2. 「注」を用いる場合

#### 例 1

松木はジェネリクス薬品は日本で開発する必要はないと指摘している<sup>1)</sup>。

#### 例 2

これについては日本人にとって当然のことであるという意見がある<sup>2)</sup>。

#### 例 3

近年の所得格差の要因について三浦は「経済学的には、所得格差の大きい高齢者の増加が主であると言われている」と述べている<sup>3)</sup>。

## ❖ 文献リストの作り方

文献リストの作り方は注のない場合と同じだが、文末脚注の場合には、注の番号順に載せる。また脚注の場合には、それぞれの注の該当ページの下部に載せる。

1) 松木則夫(2006)「ジェネリクス医薬品は誰のため？」

<http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~matsuki/series/generic.htm> 2008/02/21

2) 山田太郎(2001)『日本人の意識』東邦出版

3) 三浦 展(2005)『下流社会』光文社

---

## 第 15 課 意見文を書く (2)

---

### ポイント

#### アウトラインを書く

意見文を書くときはまず構成を考え、アウトラインを作ってみるとよい。アウトラインは文章構成と同様に序論（導入）、本論、結論で構成する（p. 19 参照）。

#### アウトライン 例 夏季のエアコン 28 度設定に反対

序論：夏季のエアコン 28 度設定に反対する。

本論：論点 1. 28 度設定では、仕事の効率が落ちると考える。

根拠 1. 環境省（2007）によると、勤務先がエアコンの温度を高め設定していると答えた人の割合は 48.1% だった。

論点 2. エアコンの温度を 28 度にしても二酸化炭素の削減にはそれほど役に立たない。

根拠 2. 国土交通省（2012）によると 2011 年の二酸化炭素の排出量の内訳は産業部門が 33.8%、運輸部門が 18.6% であり、2 部門で 52.4% を占めている。事業所、ビル等は 20.0% にすぎない。

結論：夏季のエアコン 28 度設定に反対である。

### 練習 1

資料 1、2、3 を参考にして「夏季のエアコン 28 度設定に賛成」の意見文を書きます。まずアウトラインを作成しなさい。

#### アウトライン タイトル：

序論： \_\_\_\_\_

本論：

論点 1 \_\_\_\_\_

(一つ目の自分の主張・意見)

根拠 1 \_\_\_\_\_ によると \_\_\_\_\_

(自分の主張を支えるデータ)

論点2 \_\_\_\_\_

(二つ目の自分の主張・意見)

根拠2 \_\_\_\_\_ によると \_\_\_\_\_

(自分の主張を支えるデータ)

結論: \_\_\_\_\_

**練習2** 練習1のアウトラインをもとに意見文を書きなさい (400字～600字)



## ※資料1

環境省(2007)「みんなで止めよう温暖化—チーム・マイナス6%」  
(2007年度の「COOL BIZ」の成果について)

<http://www.team-6jp/report/news/2007/11/071120a.html> 2009/7/15

### 2007年度の「COOL BIZ」の成果について

2007年11月20日(火)

チーム員である環境省では、昨年に引き続き、冷房の設定温度が28℃のオフィスでも涼しく効率的に働くことができる夏のビジネススタイル「COOL BIZ」を提唱し、温暖化防止活動の一つである、冷房の設定温度を28℃にする取組を呼びかけてきました。

本年9月末に、チーム・マイナス6%が実施した「COOL BIZ」の実施状況に関するアンケート調査では、「COOL BIZ」の認知度は96%でした。また、「COOL BIZ」開始以来、冷房の設定温度を高く設定している企業は48.1%となっており、この割合をもとに推計したところ、二酸化炭素削減量は約140万トン-CO<sub>2</sub>(約300万世帯の1ヶ月分のCO<sub>2</sub>排出量に相当)となりました。

なお、今夏、チーム・マイナス6%では、「COOL BIZ」のより一層の定着を図るため、銀行等のパブリックスペースにおける「COOL BIZ」の実施を推進してきたところであり、このほど、銀行及び映画館において実施した「クールビズ体感調査」の結果をとりまとめましたので、併せてお知らせします。

#### ■「COOL BIZ」の成果

##### 1. 調査の内容

(1)調査実施期間：平成19年9月27日～9月30日

(2)調査方法：WEB形式のアンケート調査

(3)調査対象：調査会社所有のインターネットパネル(全国で会員約10万人)から無作為抽出した男女1200名

##### 2. 調査結果

(1)「COOL BIZ」の認知率(「COOL BIZ」を知っている人)

- ・知っている 96%
- ・知らない 4%

(2)1200名のうち、就業していると答えた576名(会社員・公務員・商工自営業者等)に対して、勤務先がエアコンの温度を高く設定しているか否かを質問し、「COOL BIZ」開始以降、冷房の設定温度を高めしていると回答した者の割合

- ・冷房を「COOL BIZ」推奨以降から高く設定 48.1%

(3)冷房温度を高く設定したことによる二酸化炭素削減量の推計

年度	冷房を高く設定している割合	CO <sub>2</sub> 排出量削減
H17	32.7%	92万トン-CO <sub>2</sub>
H18	43.2%	126万トン-CO <sub>2</sub>
H19	48.1%	140万トン-CO <sub>2</sub>

※総合エネルギー統計のデータ等に基づき、H17年度、H18年度の「COOL BIZ」の成果を再推計し、推計方法を精査した結果。

#### ■銀行及び映画館における「クールビズ体感調査の結果」について

MOVIX亀有の「河童のクゥと夏休み」上映館及び、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行において実施した「クールビズ体感調査」について、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

映画館での取組について[PDF 118KB]

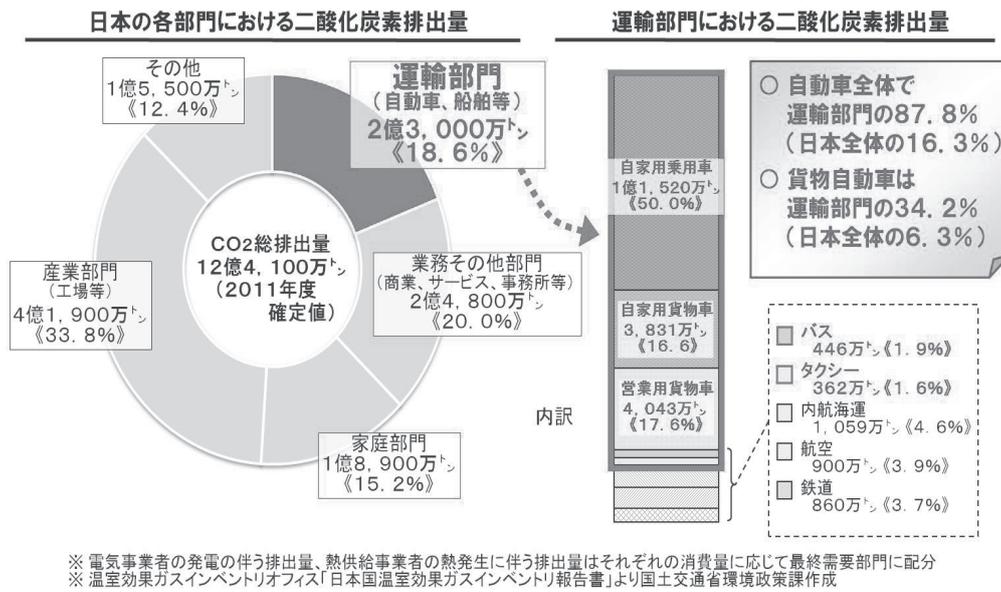
銀行での取組について[PDF 147KB]

❖資料2

国土交通省 (2012) 「運輸部門における二酸化炭素排出量」

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei\\_environment\\_tk\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html)  
2013/11/23

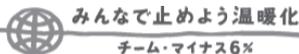
### 運輸部門における二酸化炭素排出量(内訳)



※資料3

環境省 (2007) 「クールビズ体感調査 アンケート結果 <銀行にて>

http://www.env.go.jp/press/file\_view.php?serial=10510&hou\_id=9061 2009/7/15



**クールビズ体感調査 アンケート結果 <銀行にて>**  
(調査日時:8月28日:サンプル数:446)

環境省では、対象となった銀行三行(みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行)で実施された冷房温度を28℃を目途に通常よりも控えめに設定する取組について、来店者を対象としてアンケート調査を実施した。

調査結果は以下のとおり。冷房時の室温を28℃を目途に設定する取組みに肯定的な意見は全体の約97%(「適温である」または「やや暑いが特段支障なかった」という回答が全体の約92%)にのぼるとともに、今後このような冷房温度を控えめにする取組を続けるべきと回答した方も全体の約95.5%にもなった。

<アンケート調査>

【調査日時】8月28日(火曜日)

【調査方法】来店者を対象とした、調査員による任意の書面アンケート調査

【サンプル数】446(男性:236 女性:205 性別無回答:5)

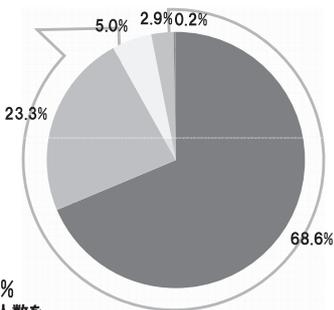
(1): 冷房温度を緩めた店舗内はどのように感じましたか

<総計>  
(n=446)

**91.9%(※96.9%)**

**適温と感じた計 91.9%**  
(「適温である」「やや暑いの特段支障はなかった」と回答した人数の計)

**取組に肯定的である計 96.9%**  
(上記の回答に、「まだ寒い」と回答した人数を加えたこの取組に肯定的な回答をした人数計)

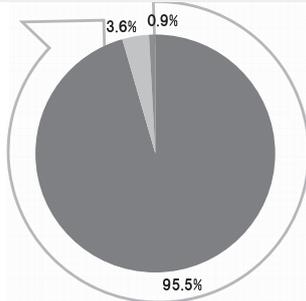


- 適温と感じた (306)
- やや暑いと感じたが特段支障はなかった (104)
- まだ寒いと感じた (22)
- 暑いと感じた (13)
- 無回答 (1)

(2): 地球温暖化対策のために、今後この取組を続けるべきと思いますか

<総計>  
(n=446)

**95.5%**  
(地球温暖化対策のために今後この取組を続けるべきと考えている計)



- 続けるべき (426)
- 続けるべきでない (16)
- 無回答 (4)

## 執筆者一覧 (50音順)

伊豆原 英子 (いずはら えいこ)	元教養部教授 (第3課、第4課、第5課、第6課、第10課、第12課、第13課)
嶽 逸子 (だけ いつこ)	総合政策学部 非常勤講師 (第9課)
椿 由紀子 (つばき ゆきこ)	(第14課、第15課)
土肥 治美 (どい はるみ)	(第1課、第2課)
中川 康子 (なかがわ やすこ)	教養部 非常勤講師 (第6課、第7課、第11課)
野田 大志 (のだ ひろし)	教養部准教授 (2018年以降の全体監修)
藤森 秀美 (ふじもり ひでみ)	総合政策学部 非常勤講師 (第10課)
三輪 柁子 (みわ まさこ)	(第8課)
向井 淑子 (むかい よしこ)	総合政策学部 非常勤講師 (第6課、第7課、第11課)

教養セミナー・ハンドブック第Ⅱ部 日本語表現法

---

2007年 3月31日 初版発行 (非売品)  
2022年 3月31日 第14版

発 行 愛知学院大学教養部  
〒470-0195  
愛知県日進市岩崎町阿良池12  
Tel. 0561 (73) 1111 (代表)

印 刷 株式会社 ある む  
Tel. 052 (332) 0861

---



**AICHI GAKUIN UNIVERSITY**  
Division of Liberal Arts and Sciences

学 籍 番 号

.....

氏 名

.....

アドバイザー

.....